自：令和６年４月　１日
至：令和７年３月３１日

令和６年度
【事業実施報告書】

社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会

【目　次】

第３次五所川原市地域福祉活動計画【ささえあいプラン】体系図・・・・・・・・・・P.1

＝事業実施報告＝

つながり、ささえあう福祉の『地域づくり』の推進

第１　住民主体の地域福祉活動の推進
1. 地域見守り支え合事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
2. 地域における共助の基盤づくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
3. 五所川原市社会福祉法人等連絡協議会運営事・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
第２　地域の交流の場・機会の創出
1. 生活支援体制整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
2. ふれあいいきいきサロン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4
3. ひとり暮らし高齢者のつどい実施事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4
第３　各当事者団体への支援
1. 各当事者福祉団体への支援（事務委託事業）・・・・・・・・・・・・・・・ P.4
2. 小規模地域ネットワーク・福祉団体活動費助成事業（地区社協活動費）・ P.7

安心して暮らせる福祉の『まち・人づくり』の育成

第１　ボランティア活動の促進と支援、担い手の育成
1. 五所川原市ボランティア・市民活動センター運営事業・・・・・・・・・・ P.7
2. アクティブシニアポイント事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.8
3. ボランティア養成講座実施事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.8
第２　災害に強いまちづくり
1. 五所川原市災害ボランティアネットワーク事業・・・・・・・・・・・・・ P.9
2. 福祉避難所の受け入れ態勢整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.9
第３　福祉意識の醸成
1. 第６６回 五所川原市社会福祉大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.9
2. ふくし出前講座実施事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.9

自分らしく暮らせる福祉の『環境づくり』の促進

第１　権利擁護の充実
1. 権利擁護センターごしょがわら運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.10
2. 西北五圏域（五所川原市・つがる市・鶴田町）権利擁護センター・・・・ P.11
第２　当事者の社会参加の促進
1. 五所川原市愛の輪レクリエーション大会・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.11
2. ケア付き立佞武多実施事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.11

ニーズを受け止め対応できる『仕組みづくり』の充実

第１　地域生活を支える福祉サービスの充実

1. 介護福祉事業（介護予防・日常生活支援総合事業）・・・・・・・・・・・・ P.12
2. 支え合い支援事業（保険適用外介護事業）・・・・・・・・・・・・・・・・ P.13
3. 障害者総合支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.14
4. 放課後児童健全育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.15

第２　安心を支援しよりそう事業の推進

1. 生活福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.15
2. 五所川原市たすけあい資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.16
3. 緊急通報システム「福祉安心電話サービス事業」・・・・・・・・・・・・・ P.16
4. 電話訪問サービス「お元気ですかコール事業」・・・・・・・・・・・・・・ P.16
5. 福祉用具貸与事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.16
6. 福祉移送サービス事業（一般乗用旅客自動車運送事業）・・・・・・・・・ P.17
7. 地域歳末たすけあい事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.17

第３　身近で相談できる体制づくり

1. 心配ごと相談所運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.18
2. 在宅介護支援センター運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.18
3. 行政及び専門機関との連携・協力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.19
4. 地域住民からの意見、提案、課題等収集・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.19

第４　新たな課題に対応する取り組み

1. 社会貢献活動推進事業(青森しあわせネットワーク事業)・・・・・・・・・ P.19
2. フードバンクシステム活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.20
3. 五所川原こども宅食おすそわけ便事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.20

地域福祉活動を支える『基盤づくり』の強化

第１　広報・啓発活動の充実

1. 広報紙「社協ごしょがわら」、「声の社協」発行事業・・・・・・・・・・・ P.21
2. ホームページ運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.21

第２　組織体制の強化

1. 法人（会務）の適正な運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.21
2. 各部署定例会議の開催、職員の資質向上・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.24
3. 地区社協や関係機関との連携・協働事業・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.24

第３　財政基盤の確保・強化

1. 会員会費制度の周知と拡大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.25
2. 赤い羽根共同募金等の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.29
3. 有料広告の利用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.29
4. 各種助成等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.29

第４　指定管理者制度の取り組み

1. 五所川原市養護老人ホームくるみ園管理運営・・・・・・・・・・・・・・・ P.29
2. 五所川原市地域福祉センター管理運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.31
3. 金木中央老人福祉センター管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.31
4. 生活支援ハウス管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.32

5. 五所川原市生き活きセンター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.32

令和６年度 五所川原市社会福祉協議会 各種行事及び庶務報告・・・・・・・・・・ P.33

社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会　令和６年度事業実施報告

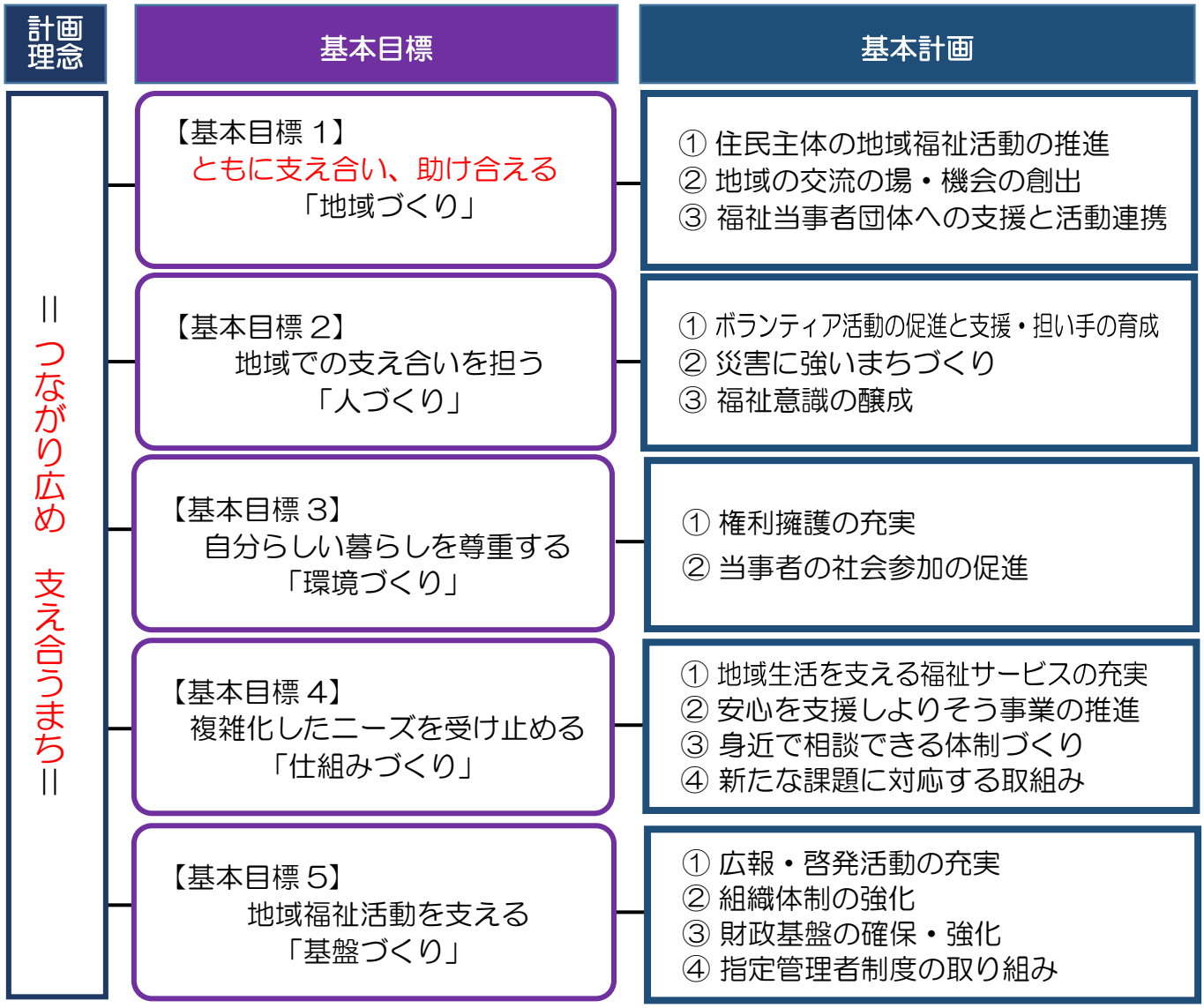
五所川原市社会福祉協議会は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「笑顔でつながり 幸せあふれる ごしょがわら」を基本理念に、「不安を抱える人への支援」「権利擁護の充実」「暮らしを支えるサービス事業の検討及び運営」「運営基盤の強化」を重点項目に事業を進めてまいりました。

社会環境や健康上の理由、物価高騰や地域経済の低迷などで生活に不安や困難を抱える人を見逃さない住民意識を啓発し、今年度から始まった第３次五所川原市地域福祉活動計画を基に、住民主体の地域福祉活動の推進やボランティア活動の促進と支援、担い手の育成を強化、自分らしく暮らせる福祉の「環境づくり」のため、権利擁護の充実や社会参加の促進に努めました。

社会福祉法人化６０周年を目前に、地域福祉活動を支える基盤づくりのため、組織体制の強化、財政基盤の確保と強化にも努めました。

つながり続けることを目的とし、五所川原こども宅食おすそわけ便は、子育て世代を初めとした市民との相談支援体制強化を継続し、新たに実施した「親子の居場所」についても充実した結果となった。

第３次五川原市地域福祉活動計画【ささえあいプラン】体系図



【事業実施報告】

つながり、ささえあう福祉の『地域づくり』の推進

第１　住民主体の地域福祉活動の推進

1. 地域見守り支え合い事業

（１）地域見守り支え合い事業　実施状況

住民主体の見守り活動推進のため、訪問活動や緊急連絡網の整備、見守り会議の開催など要援護者の早期発見と対応につなげる取り組みや、地域を拠点としたネットワークづくり、住民の福祉意識向上を図る見守り活動促進等を主体とした以下の事業を実施。

① ふれあいほっとサロン事業

高齢者の閉じこもり防止や地域で見守る体制作りを目的に、身近な集会所等を活用した交流・仲間づくり活動（地域サロン運営）の展開。

② 除排雪たすけあい事業

日常の見守り活動への関心を高めるとともに、冬の間、安心して暮らせる地域づくりを目的に除排雪が困難な高齢者世帯等に対し、住民相互のたすけあい活動を実施。

③ ふれあい交流会開催事業

住民相互の世代間交流と地域の連携強化を図るため、子どもから高齢者まで地域の誰もが参加できる交流会等の開催。（夏祭り、健康体操、ビンゴゲーム、クリスマス会等）

④ その他の福祉活動事業

誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、様々な生活課題に対して住民自らが解決・改善する、先駆的な活動を展開。（町内会清掃活動、草刈り、ゴミ出し支援等）

【事業実施町内会】

	団体名	①	②	③	④		団体名	①	②	③	④
1	若葉第一町内会			○		15	藻川自治会	○	○	○	○
2	みなみ広田町内会	○		○		16	稲実町内会		○		○
3	小曲町内会			○		17	東松島町内会		○	○	
4	沢部町内会	○	○	○		18	稲実団地町内会	○		○	○
5	寺町振興会		○	○		19	末広町町内会	○	○	○	○
6	梅田町内会			○		20	みどり町８丁目町内会	○	○	○	○
7	坂の上町内会		○	○	○	21	芦野町町内会		○	○	○
8	七ツ館町内会					22	下平井町内会	○		○	
9	広田町内会	○		○	○	23	磯松町内会	○	○	○	
10	宮田町内会		○			24	南新町内会			○	
11	山道町内会			○		25	新誠町				
12	朝日町１区	○	○			26	中平井町町内会			○	
13	みどり町７丁目町内会	○				27	南新町町内会	○	○	○	○
14	尻無町内会				○	28	松島町２・３丁目町内会	○			○
							計	13	13	20	11

【町内会等助成事業】町内会単位において、住民が主体的に実施する見守りや支え合い活動の展開に要する経費について助成金を交付し、推進に関わる活動強化への助言や育成、実施に関わる支援等を実施。

※ 世帯数や内容に応じ、28 町内会へ総額 1,516,600 円を助成（共同募金配分金活用）

※ 当年度事業の中止等による返還金 50,000 円。

（２）地域における共助の基盤づくり事業 実施状況

「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」（国庫・市補助事業）受託による、地域における見守り活動推進のため、住民が主体的に実施する見守りや支え合い活動の強化育成及び支援等を目的として実施。

① 見守りネットワーク推進事業

民生委員・児童委員、地区社協、町内会や関係機関等と連携しながら情報共有を図り、近隣での見守り強化、異常を発見した際の連絡体制の構築に繋げた。各地区代表者を参集した全体会議「地区社協連絡会」を開催し、活動が効果的に行えるように、相互の情報交換や課題解決・協議を実施した。

② 見守り活動にかかわる普及・啓発事業

各地区において、見守り活動の説明や重要性、地域の課題についての意見交換や協議を促し、住民による見守り意識の高揚に向けた活動の支援を実施。

また、「地域の絆づくり研修会」を実施し、防災や五所川原市でのサロン活動についての実例についてお話を伺い、日頃からの見守りの重要性について学んだ。

③ ボランティア活動促進事業

ボランティア活動の促進を目的とした、協力員等への保険加入に要する費用を助成。

（３）五所川原市社会福祉法人等連絡協議会運営事業　実施状況

多様な担い手確保対策の一環として、市内社会福祉法人等の地域連携体制を構築し、法人等の協働による社会貢献活動を目的に令和２年度に組織。事業として「五所川原こども宅食おすそわけ便」を年６回実施した。

第２　地域の交流の場・機会の創出

（１）生活支援体制整備事業

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続するため、支援ニーズとサービスのコーディネートを行い、生活支援等サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進することを目的として実施。

① 生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務

町内会などで開催するサロンや五所川原市が開催するお昼ごはんの会等に出席し、サロンの様子や参加者の生活の様子を伺い、ニーズの把握を実施。また、月１回生活支援コーディネーター情報交換会を行い、ニーズに対応する資源の創出を工夫協議した。

また、各町内会や地域から除雪やゴミ出し、困りごとについて情報収集を行い、今後の支援体制に向けた検討を行った。

② サービス、支援の担い手となるボランティア等の養成に関する業務

月１回アクティブシニアポイント事業の説明会を実施した。そのほか依頼のあったサロン等へ出向き、説明会を実施した。

③ 社会福祉法人、地区社会福祉協議会、ＮＰＯ法人、ボランティア団体、老人クラブ等、多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働に関する業務を推進。

生活支援コーディネーター通信「こもれび通信」を発行、毎戸配布し事業周知を行った。

また、サロン代表者に参集していただき、実施しているサロンの内容や普段抱えている悩みなどを話し合い、これからのサロンの充実に向けて有意義な時間を過ごした。

（２） ふれあいいきいきサロン　実施状況

地域の高齢者や子育て世代等が元気にいきいきと暮らすことができるよう、身近な集会所等を利用して、生きがいや仲間づくりの輪を広げる活動の助成・支援を実施。（共同募金配分金活用）

実施団体	開催回数等
若葉いきいきサロン	4 回開催（延べ 80 人）
ザ・田町栄町元気教室	17 回開催（延べ 310 人）
上中柏木なかよし会サロン	6 回開催（延べ　47 人）
Family café あづま～る	11 回開催（延べ 830 人）
なんでもかだるべし～うら	10 回開催（延べ 304 人）
憩いの広場ここまる	10 回開催（延べ 512 人）
いきいきサロン三好	19 回開催（延べ 317 人）
梅泉茶話会	10 回開催（延べ 187 人）
よこいとの会	7 回開催（延べ 67 人）
いきがいきサロン	18 回開催（延べ 420 人）
計	112 回　（延べ 3074 人）

（３）ひとり暮らし高齢者のつどい実施事業

ひとり暮らし高齢者等が安心して豊かに暮らせる環境作りのため、地区社会福祉協議会が主体となった地域や近隣の見守り機能を高める住民活動を推進した。地域ごとに多様な協力者を開拓し、孤立防止と相互支援の連携強化が図られた。

地区名	実施日	参加者
第一地区社協	令和 6 年 12 月 2 日	170 名
中央地区社協	令和 6 年 7 月 7 日 令和 6 年 12 月 22 日	130 名 145 名
飯詰地区社協	令和 6 年 10 月 19 日	38 名
三好地区社協	令和 6 年 9 月 7 日	110 名
中川地区社協	令和 6 年 11 月 19 日	20 名
梅沢地区社協	令和 6 年 4 月 23 日	93 名
七和地区社協	令和 6 年 8 月 28 日	41 名

※ 参加人数は関係者含む

第３　各当事者団体への支援

１．各当事者福祉団体への支援（事務委託事業）

（１）五所川原市ボランティア連絡協議会

加入団体が連携協力及び情報交換等各団体の充実等を目的とし、ボランティア活動への参加促進と地域福祉向上のための事務運営を援助した。

○NPO 法人ごしょがわら恵鈴会　○NPO 法人子どもネットワーク・すてっぷ
○NPO 法人ほほえみの会　○五所川原手話サークルひまわり
○ちゃぺの会　○チョボラの会　○familycafe あづま～る
○お昼を食べる会　○若葉いきいきサロン　○西北五介護タクシー
○個人加入 ： 3 名　《 加入団体（個人）: 10 団体、3 個人 》

（２）五所川原市共同募金委員会

赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動を支援し、本会及び民間社会福祉団体の事業充実・発展の活動資金募集の啓発を図り、地域住民の理解・協力体制づくり活動を推進した。

【赤い羽根共同募金運動】赤い羽根共同募金運動は、社会の変化の中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」として、全国的に取り組まれる活動であり、自らが参加する地域づくりを促進し、福祉社会実現のための多様な活動を支援する役割を果たすための活動を推進した。昨年度に続き、好評だった五所川原市 PR キャラクター「ごしょりん」と赤い羽根をデザインした令和 6 年度版オリジナルピンバッジを製作し広く協力を呼びかけ、協力を得られた。

【歳末たすけあい運動】歳末たすけあい運動は、歳末時期において地域住民やボランティア、各種福祉関係者等の協力のもと、年末年始の支援を必要とする方々へ、地域の実情に応じた様々な福祉活動を重点的に展開することができた。

【募金実績／地区扱い募金】

地区別	戸別募金	大口募金	歳末たすけあい募金
第一地区	¥591,800	¥140,000	¥278,479
中央地区	¥1,032,900	¥127,000	¥197,550
栄地区	¥737,394	¥189,000	¥150,100
松島地区	¥688,200	¥111,000	¥114,700
七和地区	¥293,400	¥2,000	¥49,700
長橋地区	¥153,100	¥60,400	¥45,800
飯詰地区	¥212,000	¥29,000	¥35,300
毘沙門長富地区	¥145,800	0	¥24,300
三好地区	¥229,800	￥5,600	¥38,400
中川地区	¥57,900	0	¥21,300
梅沢地区	¥129,500	¥30,000	¥30,000
田川町内会	¥31,800	0	¥5,300
金木地区	¥726,900	¥75,000	¥182,050
市浦地区	¥222,600	¥29,000	¥39,600
合計	¥5,253,094	¥798,000	¥1,212,579

【募金実績／その他の募金】

街頭募金	¥ 75,812	10 月初旬にエルムの街や金木タウンセンター等を拠点に各所で募金運動を実施
職域募金	¥ 84,983	一般企業、県民局を含む行政等の各種団体及び個人からの募金
学校募金	¥ 150,018	市内の小・中・高等学校からの募金
その他	¥ 895,011	「ごしょりん」ピンバッジ等
合計	¥ 1,205,824	

【令和６年度配分金を活用した各事業】

①「社協ごしょがわら」広報啓発事業　　② 地域見守り支え合い事業（町内会助成）
③ 五所川原市社会福祉大会　　④ 福祉体験学習
⑤ ケア付き立佞武多「夢かなえ隊」　　⑥ 愛の輪レクリエーション大会
⑦ 地区社協運営推進事業

【令和６年度災害見舞金支給状況】

青森県共同募金会災害見舞金等支給規程に基づき、被災住民に見舞金を支給。

・ 住宅全焼見舞金等　　5,000 円（1 件）

（３）五所川原市身体障害者福祉会

五所川原市に居住する身体障がい者が自ら進んでその障がいを克服し、より一層福祉推進を図るため、相互友愛の精神に基づいて社会経済活動に参加するとともに、会員相互の親睦と密接な組織活動を促進し、社会福祉向上に貢献することを目的にする事務運営を援助した。

【活動実績】〇役員会１回、総会１回
〇レクリエーション３回(交通安全マスコット作り、スポーツ大会等)
〇会員研修会（平川市）
〇西北五視覚障害者福祉会福祉大会創立 60 周年記念祝賀会　出席
〇赤い羽根共同募金　街頭募金活動　参加

（会員 16 名）

（４）西北五手をつなぐ育成会

五所川原市に居住する知的障がい者の相互扶助の理念に基づき、生活の確立と向上、親睦交流、育成と福祉の推進を図ることを目的にする事務運営を援助した。

【活動実績】〇役員会１回、総会１回
〇外部研修　就労継続支援 B 型施設「拓」

（会員 12 名）

（５）五所川原市母子寡婦福祉会

五所川原市に居住する母子寡婦の福祉のため、相互扶助の理念に基づき、生活の確立と向上、親睦交流を図ることを目的にする事務運営を援助した。

若年会員が子どもと一緒に参加できるような事業内容にし、寡婦会員と若年会員との交流を深めました。

【活動実績】〇理事会３回、総会１回
〇講習会３回（山菜採取、編み物）、忘年会・クリスマス会開催
若年会員へ手作り炊き込みご飯配布、
〇親子ふれあいイベントを社協と合同開催
〇第 69 回県母連福祉大会 出席

（会員 22 名）

（６）　五所川原市老人クラブ連合会

老人クラブ普及発展を図り、広く老人の親睦と福祉の増進に資することを目的にする事務運営を援助した。

ボッチャや輪投げを購入し、会員の健康増進に繋げた。また、会員減少を予防する対策として、会員増強にむけた会議を各支部で開催した。

【活動実績】〇正副会長会議２回、理事会３回、総会１回
〇いきいき運動会（126 名参加）、芸能大会（56 名参加）、輪投げ大会（41 名参加）を継続し開催
〇若者との世代間交流「わくわく交流会」を年４回開催（会員延べ 58 名、

高校生等延べ60名参加）
○手軽なフレイル予防として「セラバンド健康教室」を年2回開催（会員延べ37名参加）
○研修会「老後の心配事解消、特殊詐欺被害の現状と対策」を開催（会員28名参加）

（会員35クラブ）

２．小規模地域ネットワーク・福祉団体活動費助成事業（地区社協活動費）

地域の福祉ニーズに即した細かな事業活動の展開にあたり、地区社協及び住民参加によって活動する福祉団体等に対して助成金等を交付し、地域福祉の向上を推進した。

【地区社会福祉協議会助成額（活動費と育成額の合計】

地区社協	金額（円）	地区社協	金額（円）
第一地区	298,220	長橋地区	121,540
中央地区	488,840	松島地区	249,880
栄地区	290,852	飯詰地区	108,260
梅沢地区	76,620	中川地区	82,340
七和地区	129,460	三好地区	104,300
毘沙門長富地区	0	計	1,950,312

【福祉団体助成金額】

団体名	金額（円）	団体名	金額（円）
市身体障害者福祉会	35,000	五所川原手話サークルひまわり	10,000
市母子寡婦福祉会	25,000	西北五ろうあ協会	10,000
市民生委員児童委員連絡協議会	25,000	五所川原地区保護司会	10,000
五所川原地区更生保護女性会	10,000	西北五視力障害者福祉会	15,000
		計　8団体	140,000

【つがる西北五社会福祉協議会職員連絡会助成金】

つがる西北五地区の6市町社協職員が相互の情報交換や各種研修を行い、圏域の地域福祉活動充実が図れるよう15,000円を助成。つがる西北五社会福祉協議会事務局長連絡会との連携協議を経て、広域的な協働事業の展開、管内社協職員が研鑽と交流を図った。

安心して暮らせる福祉の『まち・人づくり』の育成

第１　ボランティア活動の促進と支援、担い手の育成

１．五所川原市ボランティア・市民活動センター運営事業

ボランティア活動振興を目的に、相談や支援の充実、情報提供及び関係団体との連携のもと、幅広い年代に、市民の福祉意識の高揚とボランティア活動への積極的な参加を促した。

また、市内のボランティア団体・市民団体の活動内容等を記載したチラシを作成し、市民へ広く情報を提供。ボランティア活動の理解と啓発を推進し、希望者への配布を実施した。

（１）ボランティア活動の支援・調整・普及

① 菊ヶ丘運動公園桜祭り　内容：物品の設置、会場の準備、案内など　１回
② こども宅食おすそわけ便　内容：食材配達、会場設営・運営　12回
③ 出張サンタクロース　内容：プレゼント受け渡し補助や見守り　１回
④ 社会福祉法人和晃会　内容：八晃園１日限定ショップ限定ショップ　１回

⑤　老人クラブ連合会 内容：「わくわく交流会」で学生ボランティアと会員の交流　4回

⑥　声の社協　内容：広報「社協ごしょがわら」の朗読　6回

（２）ボランティア保険の加入促進

・ボランティア活動保険 29 団体 603 名　・行事用保険　97 団体 3,211 名

・ボランティア総合補償　4 団体　56 名　加入者総計　130 団体 3,870 名

（３）収集ボランティア事業（アルミ缶・プルタブ回収）

本会に寄せられたアルミ缶、プルタブをリサイクル業者に持ち込み換金

日付	重量	kg	換金額
6 月 18 日	140	kg	￥3,669
8 月 16 日	30	kg	￥7,433
10 月 24 日	213	kg	￥40,302
2 月 26 日	190	kg	￥42,300
計	543	kg	￥86,271

（４）収集ボランティア事業（エコキャップ回収）

本会に寄せられ回収したキャップは、運搬輸送協力企業の協力を経て換金し「特定非営利活動法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に送金した。そのお金 14,236 円（1,423.6 kg）は、ユニセフと連携し、開発途上国の子どもたち、おおよそ 712 人分のワクチン：1 人分は約￥20（小児まひ、はしか、おたふくかぜ、結核、破傷風など）に使用された。（昨年比　312 kg減）

（５）イベント用備品・物品の貸し出し

各種団体等の活動促進を目的に、行事やイベントで活用する本会が所有する備品・物品を貸し出しした。

・ 延べ貸出団体・件数　42 件　：　計　66 点の機材貸出

《主な貸出物品》・輪投げ・ターゲットゲーム・玉入れ・わたあめ機 等

2.アクティブシニアポイント事業

高齢者等の健康維持と社会参加を図り、特に福祉事業等の内容を豊かにできる活動に結びつける事業として五所川原市が創設して 2 年目。その一部を本会が受託し、説明研修会を 12 回開催、新たに 23 名が登録した。会員登録後に利用者支援の対象ボランティア活動（21 事業所）に参加してポイント付与を受けた。様々な活動でご自身の健康と元気を向上させながら、お互いに支え合う生き生きした地域づくりと活動の充実が図られた。地域活動の新たな担い手として更なる期待が高まった。

【説明会・研修会】

4/22（23 名参加）、5/20（10 名参加）、6/24（2 名参加）、7/22（3 名参加）、
8/29（9 名参加）、10/21（1 名参加）、11/8(9 名参加)、12/19（29 名参加）、
12/23（1 名参加）、3/24（3 名参加）　※登録会員数　57 名、登録施設数　21 施設

3.ボランティア養成講座実施事業

ボランティア活動や福祉教育に地域住民が参加できる機会を広げ、地域とのつながりや共助の意識を高めることを目的にボランティア養成講座の開催を検討したが、実施時期の環境が整わず実施できなかった。福祉出前講座へは養成講座修了者の協力は得られた。

第２　災害に強いまちづくり

１．五所川原市災害ボランティアネットワーク事業

ボランティア・市民団体調査において、調査対象 53 団体中、21 団体が災害ボランティア活動への協力を強く意識しており、「災害時におけるボランティア活動に関する協定」（平成 25 年 11 月 25 日付締結）を円滑に実践できるよう、平時から各団体等とのネットワーク構築を図った。

２.福祉避難所の受け入れ態勢整備事業

「福祉避難所の確保に関する協定」（平成 25 年 9 月 25 日付締結）により、災害発生時に市の要請で特別な配慮を要する援護者の避難先となる「福祉避難所」を機能できるよう、下記の施設（指定管理施設）において受け入れ体制整備を継続して実施した。

① 五所川原市養護老人ホームくるみ園　　④ 金木生活支援ハウス
② 五所川原市地域福祉センター　　⑤ 市浦生活支援ハウス
③ 金木中央老人福祉センター

第３　福祉意識の醸成

１．第 67 回 五所川原市社会福祉大会

令和 6 年 9 月 28 日（土曜日）に、ふるさと交流圏民センターオルテンシアで約６００人が参加して開催。『五所川原のお宝。あちこちに～見つけてつなぐ安心の地域力』と題した橋本泰典氏（全国コミュニティライフサポートセンター参事）の講演では、「人と人とのつながりそのものが、命とくらしを守る」と、福祉のまちづくりに活かせる熱い思いに来場者が心を動かされた。

社会福祉活動等に功績のあった方々に表彰状、感謝状を贈り、ねぎらいと一層の活動継続、地域福祉推進の契機とした。各種施設の事業理解を促す展示販売ブースを併設した。

《表彰内訳》表彰の部 26 個人、感謝の部 30 団体・3 個人

２．ふくし出前講座実施事業

前年度より学校が 2 校、地域団体 3 団体減ったが、継続して講座開催をする学校団体もあり、新たに 1 校が講座開催をした。のべ３００人（昨年は全校で受講した学校があったので、４３２人減）が受講し、児童・生徒や町内会や各種団体の社会福祉に対する関心拡大に応じた。講座には福祉教育サポーターが協力し、ボランティア活動も広がった。

	開催日	学校名	参加人数	内容
ふくし出前講座	7 月 2 日	南小学校	25 人	車椅子体験
	7 月 3 日	東峰小学校	10 人	手話体験
	7 月 11 日	五所川原小学校	51 人	車椅子体験、 高齢者疑似体験 福祉ってなんだろう？
	9 月 12 日	東峰小学校	10 人	視覚障がい者について学ぶ
	9 月 24 日	南小学校	25 人	手話体験
	11 月 22 日	栄小学校	57 人	車椅子体験 アイマスク体験
	12 月 4 日	栄小学校	57 人	手話ってなぁに？ 点訳体験
地域向け	10 月 30 日	蒔田老人クラブ	20 人	介護予防
	11 月 26 日	沢部町内会	15 人	認知症について学ぶ
	12 月 6 日	五所川原市老人クラブ連合会	30 人	介護保険制度のしくみとサービス

自分らしく暮らせる福祉の『環境づくり』の推進

第１　権利擁護の充実

１．権利擁護センターごしょがわら運営事業

地域において判断能力に不安があり支援を要する方の権利擁護に関し、関係機関・関係者がネットワークを構築し、本会が実施する権利擁護事業の適正化や地域住民の権利を護るための方法、制度活用等の支援体制を構築。成年後見支援センターごしょがわらと連携し、成年後見制度利用促進委員会の検討・専門的判断会議において、要検討案件２１ケースについて対象者の権利擁護支援を検討。市民のための権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築と専門性・複雑性が増してきている案件への方針打ち出しは今後も重要となる。

（１）日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活における福祉サービスに関する情報提供や利用するための援助、それに付随した日常的金銭管理等の支援を行い、家族や関係機関との連絡調整を図りながら、利用者支援を実施。生活支援員が、日々の相談対応・支援活動を行い、安心した日常生活を支援した。

【管内市町別利用相談・問合せ及び支援内容相談件数】

市町村名	相談援助件数（本事業の利用に関するもの）				合　計
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明・その他	
①五所川原市	376	133	464	37	1010
②中泊町	2	0	0	1	3
③鶴田町	0	10	5	1	16
相談援助件数	378	143	469	39	1029

【会議・研修・管内巡回指導実施状況】

１．情報交換会：　支援活動における生活支援員との打合せ等　11 回
２．県社協主催研修会：　専門員・生活支援員研修会　1 回
３．県社協主催会議：　基幹的社協連絡会議　2 回
４．広報啓発活動：　令和 6 年度 第 2 回介護支援専門員連絡会研修会　1 回

【契約締結状況】

実利用者数	45	7	20	2	74
五所川原市	42	6	18	2	70
中泊町	3	0	0	0	3
鶴田町	0	1	2	0	1
年度契約件数	5	1	2	1	9
			（内、生保世帯数）		(4)
終了件数	13	0	5	2	20

２）成年後見事業　実施状況

成年後見制度による成年後見人等の選任が必要と判断された方に対し、その受任体制を確立。制度活用のための相談受付及び家庭裁判所の成年後見人選任審判に基づく、成年後見人等を法人として受任し、被後見人等の財産管理や身上監護等による権利擁護支援を実施した。後見支援員 6 名の委嘱を継続し、受任要請の増加に対応できる体制を構築した。

○ 令和 6 年度受任件数 17 件　（内、後見類型：11 件　保佐類型：6 件 ）
○ 令和 6 年度報酬付与申立て 18 件　（内、成年後見制度利用支援事業申請：3 件）

３）財産安心サポート事業　実施状況

高齢者や障がい者が保有する財産に関し、利用者と本会との契約により、その適正な保全確保を目的とし事業を展開。財産を貸金庫で保管を行う「財産保全サービス」及び契約者逝去後の事務処理を行う「死後事務委任契約」の業務を実施した。

○ 財産保全サービス　・新規契約数：0 件　・年度末利用者数：0 名
○ 死後事務委任契約　・新規契約数：0 件　・履行件数：1 件　・年度末契約者数：3 名

２．西北五圏域（五所川原市・つがる市・鶴田町）権利擁護センター

１）権利擁護支援の相談機能

中核機関が専門職などと連携して、権利擁護支援の方針を検討した。その方針に基づき、成年後見制度の申立方法や適切な後見人等候補者を調整しながら、本人を支える権利擁護支援チームの体制を構築した。

○専門的判断会議の実施　14 件

第１回　令和６年４月 24 日（五所川原市）１件　（つがる市）2 件　ZOOM での開催
第２回　令和６年５月 21 日（五所川原市）３件　ZOOM での開催
第３回　令和６年６月 20 日（五所川原市）２件　ZOOM での開催
第４回　令和６年８月 27 日（五所川原市）　１件（つがる市）1 件　ZOOM での開催
第５回　令和７年２月 14 日（五所川原市）　２件　ZOOM での開催
第６回　令和７年２月 19 日（五所川原市　）2 件　ZOOM での開催

検討結果

◎成年後見制度の利用　6 件
申　立：親族申立 0 件　　首長申立 6 件
候補者：法人 1 件、社会福祉士 1 件

◎成年後見以外の権利擁護支援へのつなぎ　2 件
日常生活自立支援事業の利用　2 件
債務整理支援　0 件　　障害福祉サービス検討　0 件

◎その他　6 件
再度親族での話し合い　0 件
必要性が認められるも再検討　4 件
親族に申立支援を行い親族申立を進める方向であったが対象者死亡　1 件
モニタリング　1 件

２）つがる西北五圏域権利擁護研修会の実施

権利擁護に関する相談窓口が各地域にあることを本人・関係者・地域住民に周知し、速やかに必要な支援に結び付けることができた。また、地域住民や関係者が権利擁護支援の必要性や成年後見制度の効用等について理解できるよう周知啓発していく。

○研修会等での周知　1 回
○研修会の開催　　1 回

第２　当事者の社会参加促進

１．五所川原市愛の輪レクリエーション大会　実施状況

障がいをお持ちの方々と地域住民やボランティアが一堂に集い、レクリエーションを通じた交流活動であり、11 月 16 日に、参加者及び施設職員 171 名、関係団体 6 名、住民参加者 10 名、ボランティア 20 名が交流した。

２．ケア付き立佞武多（夢かなえ隊）　実施状況

地域を代表する祭り五所川原立佞武多に、誰もが参加出来るよう「参加したい」と願う在宅の障がい者等の希望実現を計画。参加者（30 名）やボランティア（18 名）は満足感いっぱいであったとともに、広く障がい者への理解を深めた。

ニーズを受け止め対応できる『仕組みづくり』の充実

第１　地域生活を支える福祉サービスの充実

１．介護福祉事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

介護保険法における介護サービス提供事業として、本会の特性・特色を活かした関係事業を推進。次に掲げる各事業において介護サービスを提供した。

（１）居宅介護支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業含む）

居宅の要介護者等が介護サービスを適切に利用できるよう、心身の状況や生活環境、生活に対する希望などを勘案しながらケアプランを作成し、サービス事業者等との連絡調整などを行った。また、保険者から委託を受けて、被保険者の要介護認定調査業務を履行した。

【居宅介護支援事業利用者及び要介護認定調査件数】　※（内、予防）は、介護予防利用人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本所	利用者人数	120	118	119	121	122	123	130	128	129	125	132	124	
	(内・予防)	27	28	27	29	30	29	30	30	30	29	28	27	
	認定調査	5件	5件	6件	5件	5件	5件	6件	5件	4件	4件	4件	5件	59件
金木	利用者人数	100	99	99	97	97	96	94	97	98	99	92	94	
	(内・予防)	16	15	16	16	16	17	17	19	17	17	16	17	
	認定調査	0件	0件	7件	8件	8件	6件	6件	6件	6件	7件	2件	2件	58件
市浦	利用者人数	62	66	64	64	61	58	56	57	53	52	53	52	
	(内・予防)	21	21	20	20	17	15	15	16	14	14	16	16	
	認定調査	2件	1件	0件	2件	4件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	11件

（２）訪問介護事業（日常生活支援総合事業含む）

本人や家族だけでは日常生活を営むことが難しくなった高齢者等に対して、訪問介護員が自宅に赴き、入浴・排泄・食事等の介護、及び調理・洗濯・掃除等の家事、その他必要な生活上の援助を提供することで、高齢者等が生きがいをもって自立した生活を送ることができるよう、支援を行った。

【訪問介護事業利用者推移及び実績】　※介護保険、総合事業は、各制度別の利用人数

本所	介護保険	77	66	69	76	66	69	67	63	60	53	58	54	
	訪問回数	458	466	451	489	455	457	452	408	432	372	354	393	5,187
	総合事業	45	43	42	41	42	37	35	34	34	36	37	36	
	訪問回数	249	251	228	248	240	211	221	201	220	236	213	222	2,740

（３）通所介護事業（日常生活支援総合事業含む）

要介護状態等にある高齢者等がデイサービスセンターへ通い、入浴ほか排泄、食事等の日常生活を送るうえで必要な介護や、心身機能向上のための機能訓練及びレクリエーションなどのサービスを提供することで、高齢者等が自立した在宅生活を送ることができるよう、支援を行った。

【通所介護事業利用者推移及び実績】　※介護保険、総合事業は、各制度別の利用人数

五所川原	介護保険	44	42	44	44	46	47	46	45	43	40	42	43	
	提供回数	415	422	402	460	473	386	455	430	379	348	333	367	4,870
	総合事業	26	27	28	31	30	28	28	28	27	25	27	24	
	提供回数	155	154	147	169	155	134	154	152	143	121	112	130	1,726
金木支所	介護保険	54	56	56	56	54	54	56	56	60	63	60	62	
	提供回数	413	430	430	451	452	441	465	454	489	400	454	482	5,361
	総合事業	30	29	33	30	30	28	26	33	31	23	29	33	
	提供回数	173	157	164	161	171	152	162	185	161	109	146	174	1,915
市浦支所	介護保険	28	29	30	31	27	29	26	28	26	24	21	21	
	提供回数	257	274	249	251	226	239	227	229	215	166	173	178	2,684
	総合事業	20	21	20	20	18	16	16	17	15	14	16	17	
	提供回数	112	114	97	104	81	82	89	89	78	69	85	94	1,094

（４）高齢者生きがい活動支援通所事業 実施状況

何らかの理由で必要な介護保険サービス等を利用できない高齢者等に対し、通所介護事業に準じたサービスを提供することで、多様な生活課題に対応し、安心した在宅生活を送ることができるよう、支援を行った。

【高齢者生きがい活動支援通所事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	利用者人数	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	
	提供回数	0	0	0	1	2	0	0	0	5	3	1	1	13回
金木	利用者人数	5	4	4	3	2	2	2	0	0	0	0	0	
	提供回数	17	18	14	8	3	8	9	0	0	0	0	0	77回
市浦	利用者人数	3	4	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	
	提供回数	13	13	12	12	8	8	5	4	3	3	4	4	99回

２．支え合い支援事業（保険適用外介護事業）

何らかの理由で必要な介護保険サービス等を利用できない高齢者等に対し、訪問介護事業に準じたサービスなどを提供することで、多様な生活課題に対応し、安心した在宅生活を送ることができるよう、支援を行った。

【ささえあい支援事業（保険適用外）利用実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本所	利用者人数	10	15	16	17	15	14	16	15	18	13	10	13	
	提供回数	10	15	17	19	15	17	17	17	18	13	10	13	181回

３．障害者総合支援事業

障がいの有無にかかわらず互いに人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会実現のために、障がいがある方の日常生活と社会生活を総合的に支援する、次の事業を実施した。

（1）計画相談支援事業

障害のある人やその家族が悩みや問題を抱えているとき、相談に乗り必要な障害福祉サービスへとつなぐためのサポートをするのが、「計画相談支援」です。具体的には障害福祉サービスの利用を行う際に必要となるサービス等利用計画（案）やサービス等利用計画の本案を作成したり、サービス利用開始後にモニタリングを行い、計画の見直しを行ったりするなどの支援を行います。計画を作成するには、相談支援専門員の資格が必要となり、令和７年１月をもって、事業を廃止した。

（２）居宅介護・重度訪問介護事業

居宅支給決定を受けた障がい者等に対し、訪問介護員が自宅に赴き、身体介護・生活援助・移動支援・通院等乗降介助などのサービスを提供することで、障がい者等が自立した在宅生活を送ることができるよう、支援を行った。

【居宅介護・重度訪問介護事業利用者推移及び実績】

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
五所川原	利用者人数	24	28	26	30	28	29	26	28	28	23	20	23	
	提供回数	155	185	169	202	189	173	164	154	153	146	128	151	1,969 回

（３）同行援護事業

視覚障がいにより移動に著しい困難を有する障がい者等に対して、外出時に同行し、移動に必要な情報を提供することで、安心した外出活動の援護を行った。

【同行援護事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	利用者人数	8	8	8	8	8	8	7	8	7	6	6	7	
	提供回数	31	30	28	37	26	34	27	30	26	19	19	28	335回

（４）障害者デイサービス事業

居宅支給決定を受けた障がい者等がデイサービスセンターに通い、個別のニーズに合わせた介護やレクリエーションなどのサービスを提供することによって、生活能力の向上や社会参加促進の支援を行った。

【障害者デイサービス事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	利用者人数	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	
	提供回数	33	33	31	28	29	25	24	23	25	24	23	24	322回
金木	利用者人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回
市浦	利用者人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回

（５）障害者移動支援事業

居宅支給決定を受けた障がい者等に対し、訪問介護員（ガイドヘルパー）が外出のための支援を行い、自立した日常生活及び社会参加促進の支援を行った。

【障害者移動支援事業利用者推移及び実績】

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
利用者人数	3	4	5	4	4	5	4	4	4	5	5	4	
提供回数	6	8	9	6	10	11	7	7	9	7	9	9	98回

４．放課後児童健全育成事業

市受託事業として、地域福祉センターにおいて「ひまわり放課後児童クラブ」の名称で、児童の健康増進・情操を豊かにするねらいのもと、放課後の学びや遊びを主とした健全育成の機会及び総合的な拠点としての機能を活かし、一般住民・高齢者等が集えるという地域福祉センターという特色を生かした地域に開かれた憩いの場所・場面作りを展開した。

【放課後児童健全育成事業登録児童数推移及び利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録児童	54	54	54	55	55	55	54	51	51	51	51	51	
低学年	491	470	490	478	356	407	399	368	346	302	305	344	5,247 名
高学年	120	79	87	88	72	59	42	43	43	38	37	36	744 名
延べ利用	611	549	577	566	428	466	441	411	389	340	342	380	5,500 名
開設日数	25	24	25	26	26	22	26	24	24	23	22	25	292 日
(内土曜)	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	4	5	50 日

第２　安心を支援しよりそう事業の推進

１．生活福祉資金貸付事業 実施状況

コロナ禍による緊急小口資金の事後対応や、低所得者や高齢者、又は障がい者世帯等を対象に、資金の貸付と必要な指導援助を行い、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉の促進を図り、安定した生活を営める民生委員等と共に支援した。内容や状況により適正な専門機関・関係機関への引継ぎや情報提供等を含め、総合的な連携を図った。

※ 資金種類（年１．５％利子・保証人の有無・資金種類により無利子）

◇ 福祉資金・・・・(福祉費（生業、技能習得、療養等）13 項目、緊急小口資金)

◇ 総合支援資金・・・・・・・・・・(生活支援費・住居入居費・一時生活再建費)

◇ 教育支援資金・・・・・・・・・・(教育支援費・就学支度費)

◇ 不動産担保型生活資金・・・・・(高齢である低所得世帯及び要保護世帯向け)

資金種類	相談件数	申込件数	決定件数
福祉資金・緊急小口資金	1 件	0 件	0 件
総合支援資金	0 件	0 件	0 件
教育支援資金	1 件	1 件	0 件
不動産担保型生活資金	0 件	0 件	0 件
計	2 件	1 件	0 件

２．五所川原市たすけあい資金貸付事業　実施状況

低所得世帯等で予想外の支出が見込まれるなど様々な要因から困窮している世帯を対象として、一時的な小口資金の貸付を行い、当該世帯の生活安定・支援を実施した。

※ 貸付限度額：50,000 円（無利子）※ 償還期間：最大 10 ヶ月間（2 ヶ月間の据置期間有）

※ その他　　連帯保証人と民生委員の承認が必要

生活資金	18件	17件	17件	653,500 円
支度資金	0件	0件	0件	0円
貸付計	18件	17件	17件	653,500 円
※ 貸付件数の取扱内訳　　本所（16件）金木支所（0件）市浦支所（1件）				
※令和6年度償還完了件数：合計　10件（過年度及び当年度分）				
		償還金合計　455,500 円		

３．緊急通報システム「福祉安心電話サービス事業」 実施状況

高齢者及び高齢者世帯等、独居や障がい、病気などで不安を抱える方を対象とし、日常の相談通報と緊急時に連絡できる通報装置の設置と、近隣住民等による見守り体制の構築を図り、２４時間緊急時対応という安心を提供する事業を実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合　計
利用者数	21	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
内、加入者数	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
内、退会者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

４．　電話訪問サービス「お元気ですかコール事業」 実施状況

「福祉安心電話サービス事業」利用会員へ、本人の希望により定期的な電話訪問行い、健康状態や安否の確認、不安や孤独感解消を提供した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合　計
利用者数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
訪問回数	35	40	33	36	30	30	33	30	34	32	32	35	延べ 400 回

５．福祉用具貸与事業

低所得世帯や介護保険給付の対象外の高齢者等を対象に、車椅子や介護用特殊寝台を無償貸与することで、利用者の日常生活維持、介護者の負担軽減を目的とした事業を実施した。

	保有台数	貸出台数	返却台数	年度末実利用者数
車椅子	75	38	36	27

介護用特殊寝台	67	4	10	36

※介護用特殊寝台は貸出時に、マットレスクリーニング・搬入料として利用者負担有。

６．福祉移送サービス事業（一般乗用旅客自動車運送事業）

外出が著しく困難な高齢者及び障がい者等に対し、日常生活で必要な外出や社会参加、病院受診等を、移送サービスによって支援した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
本所	稼働日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243	日
	ケア輸送延べ数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	件
	介護輸送延べ数	174	192	162	188	189	162	187	186	180	146	137	134	2,037	件
金木	稼働日数	17	14	16	17	16	17	18	17	18	13	17	15	195	日
	介護輸送延べ数	60	61	58	72	46	62	60	54	51	46	50	42	662	件
市浦	稼働日数	17	14	16	17	14	15	16	9	13	15	10	12	168	日
	介護輸送延べ数	38	32	42	44	32	40	40	28	34	36	22	30	418	件

７．地域歳末たすけあい事業 実施状況

１）出張サンタクロース事業（ＮＨＫ歳末たすけあい事業） 実施状況

一人親世帯の乳幼児（認定こども園等園児）を対象に、サンタクロースに扮したボランティアが、対象者へクリスマスプレゼントをお渡しした。今年度は自宅訪問、又は指定場所での受取をお選びいただく形で実施した。地域福祉及び福祉活動への理解と関心を深め、児童福祉を推進した。

○ 実施日 ： 令和６年 12 月 21 日(土)　　○ 対象者：53 世帯 64 人

２）各地区社協等実施事業

各地区において、歳末に見合った行事や訪問活動など、地区のニーズや課題に応じた事業を展開した。活動にあたり、地区社協役員や民生委員・児童委員連絡協議会、町内会等と連携し、駐在所等関係機関の協力を得、対象者の健康状態や日頃の気になっていることなどの相談ごとの把握に努め、その解決に向けた取り組みにつなげている。

○ 実施期間：令和６年１２月１日～12 月 31 日

【地域歳末たすけあい 実施内容】

第一地区	歳末７０歳以上一人世帯お楽しみ会 対象者：70 歳以上独居世帯 170 人　◇ 協力員：民生委員等 28 名
中央地区	ひとり暮らし高齢者の集い 対象者：70 歳以上独居世帯 145 人　◇協力員：民生委員等 30 名
栄地区	お年玉プレゼント事業 対象者：75 歳以上独居世帯 194 人◇ 協力員：民生委員等 36 名
梅沢地区	歳末たすけあい運動 対象者：65 歳以上独居世帯 50 人◇ 協力員：地区社協・町内会長等 18 名

七和地区	歳末たすけあい運動巡回訪問事業 対象者：75 歳以上独居世帯、70 歳上の支援を必要とする方 計 37 人 ◇協力員：民生委員、地区社協、町内会長、七和駐在所 16 名
長橋地区	達者で年越すそば事業 対象者：70 歳以上独居世帯 46 人　◇ 協力員：地区社協等 16 名
松島地区	高齢者世帯へのお年玉贈呈事業 対象者：77 歳以上独居世帯 41 人　◇ 協力員：民生委員等 10 名
飯詰地区	高齢困窮者への物資支援事業 対象者：70 歳以上のひとり暮らし高齢者 76 人◇ 協力員：民生委員等 26 名
毘沙門 長富地区	高齢者世帯への見舞金贈呈事業 対象者：80 歳以上独居世帯 12 人　◇ 協力員：民生委員等 2 名
中川地区	高齢者世帯への歳末品贈呈事業 対象者：70 歳以上独居世帯 40 人　◇ 協力員：地区社協役員 6 名
三好地区	ひとり暮らし高齢者および寝たきり世帯等への歳末粗品贈呈事業 対象者：70 歳以上独居世帯、生活保護世帯、在宅寝たきり世帯（自宅で介助が必要な世帯）計 67 名 ◇ 協力員：民生委員等 16 名
金木地区	しめ縄づくり温か交流事業：ひとり暮らし高齢者等を中心に、子育て世代も含めた地域住民を対象とし、新年を迎えるためのしめ縄づくりで、相互の交流を図ることを目的に 12 月 12 日～12 月 18 日の期間で実施。 旧金木町内 ： 計 4 会場：(参加計 164 名) ◇協力：五所川原市連合婦人会金木地区婦人会
市浦地区	お楽しみお食事会：ひとり暮らし高齢者を対象に、世代間交流や介護予防を行い、昼食を一緒にとりながら交流会を実施。38 名参加。 ◇ 協力：なんでもかだるべし～うら、第七民児協

第３　身近で相談できる体制づくり

１．心配ごと相談所運営事業

地域住民の日常生活における心配ごと相談に対応、直接的な助言及び内容に応じた関係機関への適切な引継ぎなどを実施、及び間接的には、電話転送システムを用いた 24 時間相談受付体制を加え、総合相談の役割を果たした。令和 6 年度の全相談受付件数は、91 件の実績となった。

２．在宅介護支援センター運営事業

在宅介護に関する総合的な相談・助言と情報提供等を行った。 1）介護保険事業全般 2）権利擁護 3）虐待問題 4）介護相談 5）医療・疾病などの相談を受け付け、利用者及びその家族の在宅福祉の向上を図ることを目的とし実施した。

※ 在宅介護支援センターは、五所川原市地域包括支援センターの協力機関として位置付け

【在宅介護支援センター事業実績】

令和６年度		総合相談		実態把握		見守り依頼	ニーズ調査
		初回対応	継続・専門	当年度初回	継　続		
五所川原市社会福祉協議会		２４件	２８件	１件	１件	０件	０件
金木在宅介護支援センター		２７件	２２件	１４件	０件	０件	０件
市浦在宅介護支援センター		２５件	１１１件	５件	１４件	０件	０件
計		７６件	１６１件	２０件	１５件	０件	０件
会議等内容	地域ケア会議	計６回					
	協力機関業務連絡会	計６回					
	認知症フォーラム会議	計７回					

※ 事業周知及び介護相談情報提供：

（金木分）

・ききょう野会サロン（4/22）　・サークル陽だまり（5/22）・蒔田町内会（7/5）・金木老人クラブ連合会芸能発表会（10/6）・蒔田老人クラブ（10/30）・ききょう野会（11/25）・沢部町内会（11/26）・サークル陽だまり（11/26）・いきいき教室（金木地区）（12/19）・Ｇラジ「包括ナビ」出演（1/7）

３．行政及び専門機関との連携・協力

住民からのあらゆる相談に対応するため、他の社会資源と連携し、必要に応じて専門機関との情報共有等、個人情報保護を踏まえた情報提供を実施した。

※関連機関　◇五所川原市（関連各担当部署）　◇青森県（西北地域県民局）
◇関連する社会福祉協議会　◇施設・当事者団体　など

４．地域住民からの意見、提案、課題等収集

地域福祉活動推進のため、本会ホームページを活用し連絡先等を公開、相談受付体制整備や地域における市民団体・各企業等の調査、及び広報紙を通じた意見や要望等を募った。結果、電話・メールによる直接的な助言は、関連部署において事業検討時に取り上げ都度検討、一般的な質問等は「何でも相談」として受付けし、必要に応じた対応を行った。

第４　新たな課題に対応する取り組み

１．社会貢献活動推進事業（青森しあわせネットワーク事業）

青森県内の社会福祉法人が連携し、制度の狭間で困っている人に、経済的援助から就労支援、居場所づくりまで幅広い支援を行っています。既存の制度やサービスでは対応できない課題に迅速に対応するために、社会福祉法人の使命を積極的に果たしていくことを目的とした社会貢献活動で、青森県社会福祉協議会が管理運営。支援が必要な人を早期に把握、生活にお困りの方に緊急一時的な支援を行い、生活再建に向けた具体的な支援を行っています。この活動に参加する本会は、総合相談、経済的援助、ワークサポート、食糧等の提供など、幅広い支援を実施した。

	相談件数	支援件数	経済的援助	就労体験活動費	内容等
4月	5件	5 件	¥ 213,910		電気代、制服代、靴代、入学金、食材
5月	0件	0 件	¥ -		
6月	1件	1 件	¥ 8,430		食材、入浴回数券
7月	1件	1 件	¥ 26,793		食材
8月	0件	0 件	¥ -		
9月	0件	0 件	¥ -		
10月	0件	0 件	¥ -		
11月	0件	0 件	¥ -		
12月	0件	0 件	¥ -		
1月	0件	0 件	¥ -		
2月	0件	0 件	¥ -		
3月	0件	0 件	¥ -		
合　計	7 件	7 件	¥ 249,133	¥ -	

２．フードバンクシステム活用事業

食料品等の調達に苦慮する世帯に対して、善意による寄贈品や販売困難品を譲り受け、これを自立支援上必要とする住民に提供するシステムを、つがる西北五社協職員連絡会との連携を基に構築し、体制を整備。令和６年度は、58 件の相談受付及び食料等支援を行った。

３.五所川原こども宅食おすそわけ便事業

企業や市民などの方々から善意でご提供いただいた食材・日用品等を、支援を必要としている子育て世帯の方々へ“おすそわけ”の形で提供することにより、「つながりつづける」ことを目的に実施した。市内社会福祉法人や民生委員等地域住民、企業等の協力を得ながら、定期便として、年６回開催した。ほか、時期や内容を特化した随時企画（おさがり交換会、女性用品等の配布）では、延べ 495 名が利用した。また、令和６年８月から開始した、親子の居場所づくりの場として毎週日曜日に地域福祉センターを無料開放している「あそびば」には、延べ 501 名が利用。地域のボランティアと連携し、利用者には遊ぶ場の提供のほか無料で昼食提供なども行っている。

定期実施日	対象者数	協力
令和６年４月 27 日	463 世帯	ボランティア 66 名、21 法人
令和６年６月 29 日	445 世帯	ボランティア 61 名、19 法人
令和６年８月 24 日	419 世帯	ボランティア 64 名、20 法人
令和６年 10 月 26 日	448 世帯	ボランティア 61 名、20 法人
令和６年 12 月 14 日	446 世帯	ボランティア 67 名、19 法人
令和７年２月 22 日	432 世帯	ボランティア 67 名、20 法人

地域福祉活動を支える『基盤づくり』の強化

第１　広報・啓発活動の充実

１．広報紙「社協ごしょがわら」、「声の社協」発行事業

地域福祉やボランティア等に関する各種情報を積極的に伝え、福祉活動等への理解や参加協力を求め、法人活動の透明性を高めるための広報紙を共同募金配分金活用のもとに年６回発行、各回毎戸配布し、社協活動や各種福祉情報を広く住民に周知した。

「声の社協」の発行事業では、視覚障がい者が社会生活上必要な地域の情報を取得できる手段の一つとして、本会社協ごしょがわらを音声化し、利用登録者へ発行。視覚障がい者の社会参加、福祉増進を実施。（利用登録者は１名減）

※ 利用登録者　８名　　※音訳ボランティア　個人３名、企業１社

２．ホームページ運営事業

社協活動や各種福祉情報が得られるよう、本会ホームページを運営。市内外の様々な方へ周知・情報を提供し、寄附内容等を随時ブログに掲載した。また電子メールの公開により、県外からの問い合わせや内容照会があった。（随時更新することができなかった。）

また、広く住民や関係機関に対し、本会の事業内容や理念をご理解頂くため、パンフレット・リーフレットを作成。社協の認知度向上と理解を目的に機会がある毎に適宜配布を実施した。

第２　組織体制の強化

１．法人（会務）の適正な運営

本会理事・評議員会、その他会議及び研修会の開催により、適正な法人運営を図ると共に、機能強化並びに社会福祉活動の活性化を推進。各関係機関・地区社協総会等に出席することで、積極的に福祉環境の実態を広く把握するとともに本会事業の推進や状況周知を実施した。

理事会

第1回	開催日	令和６年６月 12 日（水）：五所川原市生き活きセンター多目的ホール
	出席者	理事 11 名、監事 2、事務局 3 名
	議案	1.　令和５年度 事業実施報告について 2.　令和５年度 決算報告について 3.　評議員選任・解任委員会の委員選任（案）について 4.　介護職員処遇改善加算金の支給に関する規程の制定（案）について 5.　令和６年度 定時評議員会の開催（案）について 〈報告事項〉 ① 会長及び常務理事の職務執行状況について ② 社会福祉充実残額が生じない件 ③ 自己評価の件
	結果	1～6 号原案どおり決議
第2回	開催日	令和６年７月 24（水）：五所川原市生き活きセンター多目的ホール
	出席者	理事 11 名、 監事１名、 事務局３名
	議案	1.　第 67 回五所川原市社会福祉大会の開催について 2.　市社会福祉大会表彰・感謝候補者の審査について 3.　評議員の欠員補充（案）について 〈報告事項〉 ① 居宅介護支援事業所の運営について

	結果	1～3 号原案どおり決議
第3回	開催日	令和 6 年 12 月 16 日（月）：五所川原市生き活きセンター多目的ホール
	出席者	理事 9 名、 監事 1 名、 事務局 3 名
	議案	1. 令和 6 年度 資金収支補正予算（案）について 2. 定款施行細則の一部改正（案）について 3. 評議員の欠員補充（案）について 4. 令和 6 年度 第 1 回臨時評議員会の開催（案）について 〈報告事項〉 ① 令和 6 年度中間監査の結果について ② 全国社会福祉協議会優良活動表彰について
	結果	1～4 号原案どおり決議
第4回	開催日	令和 7 年 3 月 14 日（金）：五所川原市生き活きセンター多目的ホール
	出席者	理事 10 名、 監事 2 名、 事務局 3 名
	議案	1. 令和 6 年度 第 2 次資金収支補正予算（案）について 2. 令和 7 年度 事業計画（案）について 3. 令和 7 年度 資金収支予算（案）について 4. 給与規程の一部改正（案）について 5. 組織規程の一部改正（案）について 6. 育児休業等規程の一部改正（案）について 7. 介護休業等規程の一部改正（案）について 8. 令和 7 年度 役員等賠償責任保険契約（案）について 9. 令和 6 年度 第 2 回臨時評議員会の開催（案）について 10. 事務局長の任免について 11. 経理規程の一部改正（案）について 〈報告事項〉 ① 会長及び常務理事の職務執行状況について ② 社会福祉法人指導監査の結果について
	結果	1～11 号原案どおり決議

(2) 評議員会

定時	開催日	令和 6 年 6 月 27 日（木）：五所川原市民学習情報センター
	出席者	評議員 19 名、理事 4 名（会長、副会長 2 名、常務理事）、監事 2 名、事務局 3 名
	議案	1. 令和 5 年度 事業実施報告について 2. 令和 5 年度 決算報告について 〈報告事項〉 ① 社会福祉充実残額が生じない件 ② 自己評価の件 ③ 評議員選任・解任委員の決定について
	結果	1～2 号原案どおり決議
第1回臨時	開催日	令和 6 年 12 月 25 日（水）：五所川原市生き活きセンター多目的ホール
	出席者	評議員 20 名、理事 5 名（会長、副会長 3 名、常務理事）、監事 1 名、事務局 3 名
	議案	1. 令和 6 年度 資金収支補正予算（案）について 〈報告事項〉 ① 令和 6 年度中間監査の結果について ② 五所川原市市浦生活支援ハウス指定管理事業の一部変更について

	結果	1 号原案どおり決議
第2回臨時	開催日	令和 7 年 3 月 25 日（火）：五所川原市生き活きセンター多目的ホール
	出席者	評議員 19 名、理事 5 名（会長、副会長 3 名、常務理事）、監事 3 名、事務局 3 名
	議案	1. 令和 6 年度 第 2 次資金収支補正予算（案）について 2. 令和 7 年度 事業計画（案）について 3. 令和 7 年度 資金収支予算（案）について 〈報告事項〉 ① 社会福祉法人指導監査の結果について
	結果	1～3 号原案どおり決議

(3) 監査会

第1回	開催日	令和 6 年 5 月 27 日（月）：五所川原市生き活きセンター多目的ホール
	出席者	監事 3 名
	社会福祉法第 40 条及び関係法令に基づき、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの事業年度に関し、・理事の業務執行状況・実施事業の状況・会計及び財産の状況等について監査の結果、口頭注意はあったものの、事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、いずれも適正に実施していると認められた。	
第2回	開催日	令和 6 年 11 月 6 日（水）：五所川原市養護老人ホームくるみ園
	出席者	監事 3 名
	本会事業計画に基づき、令和 6 年度第 2 回監査を五所川原市養護老人ホームくるみ園で実施。事務管理、労務管理、事業管理、指定管理関連等について監査の結果、指摘事項、指導事項はなかったが、口頭指導事項の内容については、管理や見直しが必要とのことであった。	

評議員選任・解任委員会

開催日	令和 6 年 8 月 28 日（水）：五所川原市生き活きセンター会議室
出席者	選任・解任委員 5 名、事務局 3 名
議案	1. 五所川原市社会福祉協議会評議員の選任について
結果	1 号原案どおり決議

開催日	令和 6 年 12 月 16 日（月）：書面開催
出席者	選任・解任委員 5 名
議案	1. 欠員評議員を補充する評議員選任候補者の審議について
結果	1 号原案どおり決議

五所川原市たすけあい資金運営委員会

開催日	令和 6 年 12 月 11 日（水）：五所川原市生き活きセンター会議室
出席者	運営委員 5 名、事務局 3 名
制度より生活を優先して支援することが大事であり、貸付以外の制度運用も考えること。また、免除については、条件が明確になっていないので、申請書の提出で進めることの助言を受ける。	

２．各部署定例会議の開催、職員の資質向上

【管理職会議の開催】

事務事業等を円滑に推進するため、事務局長、事務局次長並びに部署の長による法人運営会議を１２回開催し、意思統一及び職務遂行の基本事項の確認、各事業の現状把握に努めた。

【各部署による会議の開催】

各部署による定例会議の開催により、業務の課題解決・進行状況の確認を目的とし、意思統一の取れた認識のもと職員間の連携を図り、また各施設間との連絡・調整に努めた。

◇ 総務管理課　総務管理課内会議：適宜に計画や各種事項の検討を実施

◇ 地域福祉課　地域福祉課月次会議：１２回実施
※ その他、ケース検討会議を適宜実施

◇ 介護福祉課　訪問介護・通所介護推進会議：１２回実施
※ その他、部門別各事業所間の三所会議を実施

◇ 居宅介護支援事業所 ケース検討会議：本会三事業所にて、週に一度の実施

◇ 金木支所　職員月次会議：１２回実施
※ その他、週に一度の職員会議、検討会議を適宜実施

◇ 市浦支所　職員会議：随時実施
※その他、ケース検討会議を月に一度実施

◇ くるみ園　職員会議：１２回実施
※ その他、各種検討委員会、ケース検討会を適宜実施

◇ 地域福祉センター（通所介護事業）　職員月次会議：１２回実施
※ その他、ケース検討会を適宜実施

【職員の資質向上】

変わりゆく制度や情報を的確に把握し、対応力を身につけるため、各種研修会へ積極的に参加し内容を共有すると共に所内のスーパーバイズ等による職員の資質向上に努めた。

３．地区社協や関係機関との連携・協働事業

地域福祉を進める上で、関係機関等のそれぞれの機能を活かしながら、地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けた取り組みを行っていくために、より一層の連携・協働に努めた。

（１） 社会福祉実習及び体験実習等受入状況

本会機能の社会開放の一環としての職場体験、就労体験等希望者を受け入れ、福祉啓発や福祉人材育成、職業意識の醸成、ソーシャルワーク技術の実践学習の機会を提供した。

◇弘前学院大学　２年 ２名（社会福祉実習）8 日間

◇東北福祉大学 ４年１名（ソーシャルワーク実習）23 日間

（２）市浦医科診療所「急患取次ぎ」状況（10/3 まで）

市浦生活支援ハウスに隣接する市浦医科診療所の時間外照会が 13 件。
（平日 17：00 から翌 8：15、及び土・日・祝日は 24 時間対応）

（３）介護施設運営推進会議への参画状況

運営推進会議は、各地域密着型サービス事業所が利用者に対し、提供しているサービス内容等の情報開示により、地域との連携かつ地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を目的に設置。地域各施設からの参画依頼を受け、2か月に1回職員を派遣し地域に適した事業所運営等に寄与した。

※本会の参画施設（８施設）　◇ 地域密着型特別養護老人ホーム「さくらの里」

◇ グループホーム「エルムの里」　◇ グループホーム「憩いの家」

◇ 小規模多機能型居宅介護「ケアホームのりた」、「ケアホームいこい」

◇ 小規模多機能型居宅介護「ＥＳＣＯＲＴケアここあん」

◇ グループホーム「さくら園」　◇ グループホーム「いこいの里」

第３　財政基盤の確保・強化

１．会員会費制度の周知と拡大

地域福祉活動推進への財源確保のため、住民等が社協活動の重要性を理解し、社協会員として継続的に地域福祉活動への参加・協力頂けるよう、積極的な周知に努め、会員（一般会員・賛助会員）の拡大・推進を行った。

（１）会費等の状況

本会の自主事業を支える根幹であり、事業充実のためにも重要な財源であるとともに、各種活動や住民理解によって本会組織の強化に努めた。賛助会費の協賛者を広め、役職員会費は８割アップすることが出来た。

① 一般会費（1 世帯当たり　300 円）

地区社協	金額（円）	地区社協	金額（円）
第一地区	429,600	三好地区	115,500
中央地区	731,400	飯詰地区	122,100
栄地区	398,420	毘沙門長富地区	72,900
梅沢地区	77,700	中川地区	78,900
七和地区	149,100	金木地区	403,900
長橋地区	135,900	市浦地区	110,400
松島地区	349,800	計	3,175,620

② 賛助会費（1 口　5,000 円）

No.	氏名・団体名	金額（円）	No.	氏名・団体名	金額（円）
1	坂本保険事務所	5,000	36	工藤海産物	10,000
2	(株)日産サティオ弘前 五所川原店	10,000	37	(株)サン・コーポレーション	10,000
3	(有)羽藤商事	10,000	38	(株)町田アンド町田サカエ福祉サービス	5,000
4	(有)高橋電業	20,000	39	じん住宅設計事務所	10,000
5	津軽石油販売(株)	10,000	40	牛肉のマルヨ	10,000
6	(株)西北機器サービス	20,000	41	レストランわらび	10,000
7	(有)サンセイ住設	10,000	42	白川食品	10,000
8	(有)クローバー商事	20,000	43	工藤精肉店	10,000
9	五所川原印刷(株)	10,000	44	(株)環境技研	5,000
10	環境保全(株)	10,000	45	五所川原市シルバー人材センター	10,000
11	(株)さかもと青果	5,000	46	(株)丸英でんき	10,000
12	(株)須崎建設	5,000	47	(有)山川商店	5,000
13	(有)角浩小林商店	10,000	48	ワタキューセイモア(株)	10,000
14	いしおか	5,000	49	(有)森永ストア	5,000
15	(有)又一荒関商店	30,000	50	(株)成長ストア	10,000
16	合同会社アルファサポート	5,000	51	(有)安田自動車鈑金	10,000
17	五所川原交通(株)	10,000	52	(株)青森電子計算センター	10,000
18	鮮魚飛鳥	10,000	53	(株)はやぶさ保険事務所	10,000
19	(株)みかみ商事	10,000	54	フルテック(株)	5,000
20	(株)藤久らばんでりあ	10,000	55	福士とうふ店	5,000
21	(有)アート印刷	10,000	56	工藤忠商店	10,000

22	小関精肉店	10,000	57	つがる惣菜	10,000
23	(有)たむら文具	10,000	58	(有)山本水産	5,000
24	(有)三浦石油商会	10,000	59	トヨタカローラ青森(株) 介護福祉用具相談室柏店	10,000
25	(株)中里観光	10,000	60	(有)池田石油	10,000
26	(有)芦野清掃	5,000	61	(株)マルキ	10,000
27	(有)金木工業	10,000	62	毛内酒店	10,000
28	七商	10,000	63	太田自動車	10,000
29	つがるにしきた農業協同組合津軽北部支店	5,000	64	でんき屋ポテト	5,000
30	(有)高直	5,000	65	(株)ワイズマン	10,000
31	(有) 松江造花仏壇店	10,000	66	(有)木村産業	10,000
32	(株)又上佐々木呉服店	10,000	67	(有)ジャンボドライ五所川原工場店	5,000
33	青森つがるマルイチ商店(株)	50,000	68	(有)村元水道工業	10,000
34	高松こめや	10,000			
35	(財)青森県薬剤師会　食と水の検査センター	10,000		計	685,000

③ 役職員会費（1口　2,000円）

内訳	金額（円）	備考
本会役員及び評議員　45名	180,000	

（２）寄附金等の状況

①社会福祉事業寄附金

No.	氏名・団体名等	金額（円）	他物品
1	高見会	20,000	
2	藤都流松誉会	30,000	
3	佐藤雄太	3,000	
4	五所川原地場産業振興プラザ	28,371	
5	平山博文	200,000	
6	青森県労働者福祉協議会	100,000	
7	茶道裏千家淡交会　五所川原和敬会	21,000	
8	佐藤雄太	1,000	
9	五所川原市母子寡婦福祉会	10,000	
10	カラオケみちのく	16,000	
11	北斗エンタープライズ	11,000	
12	佐藤雄太	555	
13	(株)ミワ電工	100,000	
14	小山内きみ子	3,290	
15	里山ボランティアグループ	5,000	
16	五所川原ライオンズクラブ	10,000	軽貨物自動車１台
17	五所川原東日流ライオンズクラブ	10,000	
18	五所川原中央ライオンズクラブ	10,000	
19	浜山るみ子	100,000	

20	対馬将晃	10,000	
21	楠美京　ご家族	30,000	
22	つがる逍遙会	30,000	
23	松緑神道大和山五所川原教区	30,000	
24	日本道路(株) 青森合材センター	21,560	プルタブ
25	日本道路(株) 青森合材センター(阿部敏幸)	6,292	
	計	807,068	

②善意銀行事業寄附物品等

No.	氏名・団体名等	物品等
1	familycafé あづま～る	白米 2.8 kg
2	JA つがるにしきた女性部	白米、野菜、日用品等 80 kg
3	アサヒグループ食品	菓子 1.3 kg
4	阿部　美紀子	白米 10 kg
5	新井　喜雄	菓子 4.5 kg
6	荒谷　伯江	飲料品 29ｋｇ
7	伊勢谷　美幸	菓子 2 kg、飲料品 7 kg、生理用品 0.7 kg
8	医療法人社団清泉会　布施病院	菓子 5.9 kg
9	うめだりんご園	瓶入りﾘﾝｺﾞｼﾞｭｰｽ 59 本、りんご 150ｋｇ
10	太田　忠光	玄米 60 kg
11	太田　春香	日用品 2 kg、食品 3 kg、白米 6 kg
12	小田川　浩三	大根 10 kg
13	葛西　慶子	菓子 3.4 kg、日用品 3.5 kg
14	葛西　光昭	玄米 50 kg
15	葛西　淳子	白米 5 kg
16	金木連合婦人会	しめ縄飾り 6 個
17	株式会社　青森みちのく銀行	PC、プロジェクター、台車等
18	株式会社　ホンダセンターナリコー	カップ麺 3 箱、箱菓子 3 箱 8.8 kg
19	株式会社　みかみ商事	菓子 96.4kg、
20	株式会社　みよし野	白米 120ｋｇ
21	株式会社　裕健　ひなた薬局	ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ 5 箱、ｻﾗﾝﾗｯﾌﾟ 240 本等
22	株式会社　又上佐々木呉服店	前開き肌着（紳士・婦人）29 枚
23	川村　純子	食品 8.56 kg、日用品 11.7 kg
24	川村　高史	白米 60 kg
25	木下　忍	栗 20 kg
26	菊池　義孝	書き損じはがき 16 枚、商品券 2,000 円
27	木村　光男	レタス 90 kg、きゅうり 183.5 kg
28	木村　陽子	チャイルドシート 1 台
29	櫛引　明美	食器用洗剤 15 本 9 kg
30	工藤　麗奈	衣類 4.7 kg
31	合同会社　アルファサポート	さつまいも 165 kg

32	公益社団法人五所川原市シルバー人材センター	大人用紙おむつ 1.9 kg
33	古川　順子	食品 8.9 kg、衣類 2.2 kg
34	コープあおもり浪岡センター・五所川原地域	生理用品、マスク 15.5 kg
35	五所川原おもちゃ病院	天井取付 LED 照明器具他
36	五所川原第一中学校	書き損じはがき、切手 43 kg
37	五所川原地区婦人会・日赤五所川原分団	お手玉 31 袋、マット 5 枚他
38	今　裕子	書き損じはがき 41 枚
39	佐藤　清隆	テレビ１台
40	佐藤　祐子	メモ帳 19 冊 0.8 kg
41	佐藤　瑞穂	菓子 1.5 kg
42	渋谷　清子	子ども用オムツ、洗剤 2.8 kg
43	下平井町町内会	ポップコーンセット 3.5 kg
44	松緑神道大和山　広田支部	柿（渋抜き済み）180 kg
45	白川　渚	食品 3.2 kg、日用品 1 kg、衣類 7 kg
46	白川　護	車椅子１台
47	白戸　健	生栗 7 kg、箱菓子 1.5 kg、りんご 201 kg
48	清野　嘉峻	野菜等 39.5 kg、飲料品 13 kg
49	鮮魚飛鳥	玄米 75 kg
50	専念寺	白米 81.3 kg
51	ダイドードリンコ株式会社　東北第二支店　青森オフィス	飲料品 6480 本
52	高橋　幸男	玄米 30 kg
53	高満　美伸	カップ麺 1.6 kg
54	髙橋　良子	女性用下着 7.5 kg
55	長円寺	菓子 14.1 kg、飲料品 6 kg
56	つがるにしきた農協　女性部津軽北部支部	白米 10 kg、乾麺 22.5 kg
57	つがるにしきた農業協同組合	白米 800 kg
58	對馬　のり	白米 52 kg
59	寺田　富二子	食品 12.2 kg、
60	天理教西北Ⅰ支部	食品 30 kg
61	天理教西北Ⅰ・Ⅱ支部	食品 74.5 kg、飲料品 30 kg
62	東北電力ネットワーク株式会社	防災食中華丼 12 箱、シチュー12 箱
63	土岐　泰教	学習机セット 1 台
64	中田　麻里子	菓子 1.3 kg、子ども用オムツ 3.8 kg
65	中村　智彦	りんご 40 個、水 6ℓ
66	奈良　勝義	液晶カラーテレビ 1 台
67	成田　喜美子	食器用洗剤等日用品 1 kg
68	野宮　憲治	玄米 30 kg、白米 50 kg
69	野呂　忠信	トマト、じゃがいも 14.5 kg
70	平山　美智子	祭り浴衣一式
71	ファームおおた	かぼちゃ 28.3 kg
72	福士　とよ子	カレールー30 箱
73	藤田　恵子	食品 1.66 kg

74	フリーミストクラブ	生理用品 36 袋 6.8 kg
75	法永寺	菓子 7.7 kg、飲料品 34 kg、日用品 18 kg
76	松川　幸男	玄米 20 kg
77	松本　美穂子	大人用紙おむつ 3.3 kg、衣類等 0.7 kg
78	丸海老　隆	布団 2 枚 5.6 kg
79	棟方　敦子	玄米 20 kg
80	明治安田生命　五所川原営業所	日用品 27.7 kg、食品 7 kg、衣類 44.1 kg
81	毛内　行雄	かぼちゃ 13 kg
82	山田　悠	冷凍ポテトフライ 1 袋 0.3 kg
83	有限会社　ジャンボドライ	アルコールジェル、ウエス 5.5 kg
84	吉田　悠	化粧品、洗浄ほか 5 kg
85	連合青森西北五地域協議会	素麺 182 袋、菓子

２．赤い羽根共同募金等の促進

住民等へ赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の趣旨を理解頂き、募金活動への協力を依頼すると共に、募金実績による配分金の拡大を目指し、地域福祉の向上に努めた。

３．有料広告の利用促進

社協広報誌（社協ごしょがわら）の一部紙面を積極的に活用し、広告掲載を希望する民間企業等の募集に努め、広告料収入の増額を推し進めた。

【広告掲載等の状況】

No.	法人名	金額（円）	備考
1	株式会社 丸英でんき	50,000	
2	有限会社アート印刷	65,000	
3	株式会社五所川原ケアセンター	130,000	
	計	245,000	

４．各種助成等の状況

社会福祉法において、社会福祉協議会が公共性の高い地域福祉推進の中核的組織であることに基づき、福祉事業充実のための補助金・受託金の継続的な支援を働きかけた。

第４　指定管理者制度の取り組み

１．五所川原市養護老人ホームくるみ園管理運営

五所川原市養護老人ホームくるみ園の管理運営を受託して２１年が経過。くるみ園に入居している４７名（平均入居期間４年８ヶ月）の心身機能や生活意欲、ご家族の意向も把握して、実態に基づいた支援に取り組んだ。

入居者は、心身機能の衰えに不安を抱きつつも、機能低下予防への意識が低く、残存機能を積極的に活用する機会も少ないなどの課題を抱えているため、個々の課題解消による自立した生活を目指し、心身機能や意欲を考慮した活動計画や支援計画を作成した上で、ゲームや運動、外出、創作活動、軽作業など、相互交流のできる小グループ活動を実施し、主体性や社会性の向上を図った。

（１）健康支援：日常生活のなかで、食事摂取量・バイタルサイン・顔色や表情等の状態の観察を支援員の他、他職種職員が常に行うとともに、内科（週１回）・精神科（月１回）の定

期的な診察の他、年２回の健康診断を実施する事で、疾病の早期発見・早期治療が図れ、重症化予防等に努めた。

また、家族の面会時には入居者の健康状態について話し合いを持つように心掛け、精神・身体状態の変化や体調不良時や急変時には、すぐに家族に連絡を取るなど連携を密にするようにしている。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、令和５年度に引き続き、不要不急の外出を極力控え、面会の制限または禁止については、くるみ園広報紙「かけはし」にてご家族へ伝え、協力を依頼した。

（２）食事支援：入居者の健康保持と美味しく楽しんで頂ける食事を目指し、できるだけ地産地消を行い、季節感のある旬の野菜や果物等を取り入れた栄養バランスの良い献立と行事食の提供を心掛けた。また、嗜好調査を行い、入居者の嗜好を考慮した食事に努め、嚥下機能に不安がある入居者へは、食事前に嚥下体操を実施し、嚥下機能低下防止に努めた。

食事は安全で安心して頂けるものでなくてはならない為、衛生管理マニュアルに沿った衛生管理を行い、食品の納品から調理の各工程で、食品の安全を確認し記録を取り食中毒予防に努めた。

（３）生活支援：養護老人ホームの使命と多様化する要望に応えるため、入居者やご家族と十分な話し合いを行い、相互の合意に基づく計画を作成し、昼夜を問わず支援できる体制作りを図った。また、長引く新型コロナウイルスの影響により、地域住民参加型の行事等が制限される中、感染防止対策を行ったうえで、レクリエーション活動の充実や、園内外行事等を実施した。

（４）防災対策：年２回の総合避難訓練（内１回の夜間(想定)避難訓練では、例年くるみ園防災協力員にも参加協力を依頼していたが、令和６年度はコロナ感染を鑑み、入居者・職員のみでの訓練)を実施し、近隣住民による施設防災への関心を高め、入居者の安心安全な生活の確保に努めた。

【各種展開活動状況】

活動区分	令和６年度の主な活動内容	参加人数
月例活動	グラウンドゴルフ・バイキング昼食・誕生会他	1,319 名
季節活動	小グループ外出・相撲星取り他	480 名
年間活動	運動会・新年を祝う会他	144 名
地域活動	ボランティア交流・各種実習者受入れ他	180 名
自主活動	手工芸活動・基礎運動活動・作業応援活動・レク活動他	446 名

【高齢者生活管理指導短期宿泊事業利用状況】

月	利用者数	利用日数	月	利用者数	利用日数
4 月	0 名	0 日	10 月	0 名	0 日
5 月	0 名	0 日	11 月	0 名	0 日
6 月	1 名	24 日	12 月	0 名	0 日
7 月	2 名	45 日	1 月	0 名	0 日
8 月	1 名	23 日	2 月	1 名	8 日
9 月	1 名	9 日	3 月	1 名	19 日
			合計	7 名	128 日

【市町村別入居者状況（令和７年３月 31 日現在)】

	五所川原市	つがる市	青森市	鶴田町	中泊町	鰺ヶ沢町	深浦町	計
男性	13	3				1		17
女性	21	4	1		1	2	1	30
計	34	7	1		1	3	1	47

【 入居者及び入退所（月末）状況（入所者８名・退所者８名)】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所者数	0	0	3	1	2	0	3	0	0	0	1	0
退所者数	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1
男性入居者数	13	13	16	17	17	16	17	17	17	17	18	17
女性入居者数	29	29	29	28	30	29	31	31	30	30	30	30
月末日在籍者数	42	42	45	45	47	45	48	48	47	47	48	47

【 入居者の性別・年齢別状況（令和６年３月 31 日現在・平均年齢)】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	平均年齢
男性	1	3	5	5	3	0	78.4
女性	0	5	7	2	7	9	83.6
計	1	8	12	7	10	9	81.8

２．五所川原市地域福祉センター管理運営

福祉活動の拠点として五所川原市地域福祉センターの管理を受託運営。高齢者・障がい者及び地域住民に各種福祉サービスを提供し、施設機能の開放を行うことにより、団体・市民等の福祉増進・意識高揚に努め、人材の育成や福祉情報の発信等を行った。また、必要に応じ各種団体・機関等へ施設設備の開放（貸館業務）を実施、並びに館内清掃やレクリエーションなどのボランティアの協力を受入れ、館内の一部を使用した児童福祉の活動拠点「ひまわり放課後児童クラブ」にて、健全な遊び、高齢者等との交流にも努め、活気あふれるセンターの管理運営を行った。

開設日数	322 日	ボランティア受入状況	延べ　67 名
利用団体数	延べ 39 団体	年間利用人員	延べ 1,704 名

※ひまわり放課後児童クラブ運営状況は放課後児童健全育成事業実施状況として記載。(P.15)

３．金木中央老人福祉センター管理運営

地域に開放された施設として、高齢者の健康増進と生きがいづくりを目的に、週６日間開設（月曜日休館）し、温泉施設の提供、各種相談および団体等へ活動推進のための貸館等を行いっている。温泉施設の利用については高齢者以外の方の利用も多く、また、近くにキャンプ場があるため、県内外から立ち寄る方も増えている。

開設日	25	27	26	26	23	17	27	26	24	24	24	26	295	日
有料入館者	1,335	1,211	1,040	913	1,009	611	932	1,060	973	873	1,049	1,108	12,114	名
無料入館者	4,496	4,558	4,377	4,266	3,586	2,690	4,262	4,161	3,973	4,139	3,984	4,738	49,230	名
計	5,831	5,769	5,417	5,179	4,595	3,301	5,194	5,221	4,946	5,012	5,033	5,846	61,344	名
摘要	※ 令和6年度有料入館者における利用金額は2,884,700円													

４.生活支援ハウス管理運営

概ね 65 歳以上の高齢世帯および 高齢者に対し、居住機能及び交流機能の総合的な提供により、入居者に多くの喜びと潤いを与え、生活意欲増進につながった。冬季間の開設ではあるが、入居者相互の交流もうまれ、生きがいを見出す場となっている。

※金木生活支援ハウス（入居定員 12 名)）

市浦生活支援ハウス（入居定員 20 名）(10/3 で閉鎖)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
金木	実利用者	4名							4名	8名	8名	8名	8名	40名
	利用延べ数	88							76	227	248	224	243	1,106
市浦	実利用者	5名	4名	4名	3名	1名	1名	1名						19名
	利用延べ数	150	124	120	62	31	30	2						519

５．五所川原市生き活きセンター管理運営

高齢者をはじめとする保健福祉の向上を図るため、入浴施設（60 歳以上の市民のみ利用可能）を週 3 日間開設（火・木・土)、貸館業務（月～土）及び各種相談への対応、ボランティアの受入れを行った。

（入浴施設）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開設日	13	12	14	13	14	12	14	12	12	12	11	12	151	日
有料入館者	187	182	188	170	214	165	176	178	221	181	193	234	2,289	名
無料入館者	4,528	3,976	4,243	4,454	4,360	4,005	4,645	4,221	4,215	4,105	3,731	4,491	50,974	名
計	4,715	4,158	4,431	4,624	4,574	4,170	4,821	4,399	4,436	4,286	3,924	4,725	53,263	名
摘要	※ 令和6年度有料入館者における利用金額は685,650円													

（貸館業務）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	25	25	25	25	26	23	26	24	25	23	23	25	295 日
団体	11	11	12	11	12	14	15	14	12	7	9	11	139 団体
利用人数	191	268	229	370	297	468	435	472	223	135	189	213	3,490 人

令和６年度　五所川原市社会福祉協議会　各種行事及び庶務報告

自：令和６年　４月　１日
至：令和７年　３月３１日

月	日	行事・会議（研修）名	場所等
４月	15	五所川原市共同募金委員会　監査会	生き活きセンター
	15	法人運営会議	生き活きセンター
	16	コープあおもりからの農産物の受取 オンライン説明会	オンライン開催
	22	アクティブシニアポイント説明会	生き活きセンター
	24	生活困窮者自立相談支援事業支援対応会議	五所川原市役所
	24	中核機関専門的判断会議	オンライン開催
	26	市浦地区防災研修	脇元コミセン
	27	こども宅食「おすそわけ便」	地域福祉センター
	30	子ども・子育てフェスティバル実行委員会 第１回会議	五所川原市役所
５月	8	五所川原市認知症フォーラム　第１回実行委員会	五所川原市役所
	13	共同募金新任研修　～5/15	オンライン開催
	14	法人運営会議	生き活きセンター
	14	地域ケア推進会議	五所川原市役所
	17	五所川原市共同募金委員会　運営委員会	生き活きセンター
	17	福祉安心電話サービス事業担当者会議	生き活きセンター
	19	ぬいぐるみ配布会	生き活きセンター
	20	正副会長会議	生き活きセンター
	20	令和６年度五所川原市子どもの幸せ推進協議会代表者会議	五所川原市役所
	20	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	21	中核機関専門的判断会議	オンライン開催
	21	五所川原市ボランティア連絡協議会 令和６年度 総会	生き活きセンター
	23	生活支援コーディネーター情報交換会	生き活きセンター
	23	郡市町村社協事務局長会議	アスパム
	24	第１回基幹的社協等連絡会議	県民福祉プラザ
	27	令和６年度五所川原市社会福祉協議会　監事監査会	生き活きセンター
	28	五所川原市社会福祉大会　第１回作業部会	地域福祉センター
	29	生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議	生き活きセンター
	31	五所川原市社会福祉大会　第１回検討委員会	生き活きセンター
６月	9	ふくし出前講座（手話体験）	南小学校
	12	第１回　理事会	生き活きセンター
	12	五所川原市認知症フォーラム　第２回実行委員会	五所川原市役所
	14	五所川原市社会福祉大会　第２回作業部会	生き活きセンター
	14	法人運営会議	生き活きセンター

	14	生活支援コーディネーター情報交換会	生き活きセンター
	19	子ども・子育てフェスティバル実行委員会 第２回会議	五所川原市役所
	20	五所川原市社会福祉大会　第２回検討委員会	生き活きセンター
	20	令和６年度　第３回検討・専門的判断会議	オンライン開催
	20	中核機関専門的判断会議	オンライン開催
	24	社会福祉協議会基本要綱フォーラム	フォレスト仙台
	24	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	26	生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議	五所川原市役所
	27	定時評議員会	生き活きセンター
	31	こども宅食「おすそわけ便」	地域福祉センター
７月	2	ふくし出前講座（車椅子体験）	南小学校
	3	ふくし出前講座（点字体験）	東峰小学校
	3	五所川原市社会福祉大会　第３回作業部会	生き活きセンター
	4	障害者サービス説明会・福祉団体広報イベント	五所川原市中央公民館
	5	令和６年度 五所川原市介護事業者連絡協議会 第１回研修会	五所川原市市民学習センター
	9	こども宅食応援団会議	オンライン開催
	11	ふくし出前講座（車椅子体験、高齢者疑似体験等）	五所川原小学校
	16	令和６年度 日常生活自立支援事業 専門員・生活支援員研修会	アピオあおもり
	16	法人運営開始	生き活きセンター
	16	地域ケア会議	五所川原市役所
	17	五所川原市社会福祉大会　第３回検討委員会	生き活きセンター
	18	令和６年度 第１回五所川原市子どもの幸せ推進会議実務者会議の開催	五所川原市役所
	18	共同募金検討委員会	県民福祉プラザ
	22	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	24	第２回　理事会	生き活きセンター
	26	令和６年度 生活支援コーディネーター養成研修「基礎編」	オンライン開催
	29	生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議	五所川原市役所
	31	五所川原市認知症フォーラム　第３回実行委員会	五所川原市役所
８月	4	あそびば	地域福祉センター
	6	ケア付き立佞武多「夢かなえ隊」	市内（運行コース）
	11	あそびば	地域福祉センター
	14	法人運営会議	生き活きセンター
	18	あそびば	地域福祉センター
	21	ひまわり児童クラブ地域交流会	地域福祉センター
	22	生活支援コーディネーター情報交換会	生き活きセンター
	24	こども宅食「おすそわけ便」	地域福祉センター

	25	あそびば	地域福祉センター
	26	五所川原市介護事業者連絡協議会　第 2 回研修会	五所川原市市民学習センター
	27	生活支援コーディネーター情報交換会	生き活きセンター
	28	評議員選任・解任委員会	生き活きセンター
	28	生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議	五所川原市役所
	29	日常生活自立支援事業預かり物検査	各支所、中泊社協
	30	青森県共同募金担当者会議	アピオ青森
9月	1	あそびば	地域福祉センター
	4	高校生との意見交換	立佞武多の館
	9	青森県生活支援コーディネーター養成研修	オンライン開催
	11	五所川原市社会福祉大会　第 4 回作業部会	生き活きセンター
	12	ふくし出前講座（点字体験）	東峰小学校
	14	五所川原市認知症フォーラム	オルテンシア
	15	あそびば	地域福祉センター
	17	令和 6 年度福祉サービス苦情解決関係者等研修会	オンライン開催
	17	法人運営会議	生き活きセンター
	17	地域ケア会議	五所川原市役所
	18	五所川原市社会福祉大会　第 4 回検討委員会	生き活きセンター
	18	生活支援コーディネーター情報交換会	生き活きセンター
	19	子ども・子育てフェスティバル実行委員会第 3 回会議	五所川原市役所
	20	共同募金推進会議	生き活きセンター
	20	地区社会福祉協議会連絡会	生き活きセンター
	22	あそびば	地域福祉センター
	24	生活福祉資金貸付事業担当者研修会	アスパム
	24	ふくし出前講座（手話体験）	南小学校
	26	生活困窮者自立支援制度従事者養成研修	アスパム
	28	第 67 回　五所川原市社会福祉大会	オルテンシア
	29	あそびば	地域福祉センター
	30	共同募金説明会	コミセン飯詰
10月	1	令和 6 年度福祉サービス苦情解決関係者等研修会(障がい者分野)	東奥日報新町ビル
	4	放課後児童対策に係る支援員等研修会（後期）	柏ふるさと交流センター
	6	あそびば	地域福祉センター
	8	共同募金運動推進会議　栄地区共同募金委員会	コミュニティセンター栄
	13	子ども・子育てフェスティバル	五所川原市民体育館
	15	法人運営会議	生き活きセンター
	17	生活支援コーディネーター情報交換会	生き活きセンター

	18	生活福祉資金 償還促進運動	生き活きセンター
	20	あそびば	地域福祉センター
	21	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	22	法人運営会議	生き活きセンター
	23	第 73 回 青森県社会福祉大会	リンクステーションホール青森
	23	第 3 回五所川原市子どもの幸せ推進協議会実務者会議	五所川原市役所
	26	こども宅食「おすそわけ便」	地域福祉センター
	27	あそびば	地域福祉センター
	30	ふくし出前講座　蒔田老人クラブ（認知症予防等）	蒔田コミセン
11月	3	あそびば	地域福祉センター
	6	中間監査	くるみ園
	6	五所川原市たすけあい資金運営委員会	生き活きセンター
	7	中核機関専門的判断会議	オンライン開催
	7	第一地区赤い羽根共同募金推進会議	中央コミセン
	8	第 2 回基幹的社協等連絡会議	アピオ
	8	アクティブシニアポイント事業説明会	金木東部コミセン
	11	市部会・地域福祉部会・介護保険部会合同部会	アスパム
	11	こどもの貧困対策ネットワーク会議	県民福祉プラザ
	13	生活支援コーディネーター養成研修【展開編】	オンライン開催
	13	認知症フォーラム第 4 回実行委員会	五所川原市役所
	15	青森県防災ボランティアコーディネーター連携研修会	鶴田町社協
	17	あそびば	地域福祉センター
	18	法人運営会議	生き活きセンター
	18	五所川原市社会福祉大会　第 5 回作業部会	生き活きセンター
	19	地域ケア推進会議	五所川原市役所
	20	「こども食堂」開設セミナーｉｎふじさき	藤崎町文化センター
	20	財政援助団体等監査（実地監査）	生き活きセンター
	20	つがる西北五広域連合地域自立支援協議会精神保健福祉部会	五所川原市市民学習センター
	20	つがる西北五社会福祉協議会職員連絡会 会員研修会	中泊町総合文化センター
	22	五所川原市社会福祉大会　第 5 回検討委員会	生き活きセンター
	22	ふくし出前講座（車椅子体験・アイマスク体験）	栄小学校
	24	あそびば	地域福祉センター
	25	こども宅食おすそわけ便「おむつ配布会」	本所、金木、市浦
	26	ふくし出前講座　沢部町内会（認知症について）	沢部集会所
	29	こども宅食おすそわけ便「おむつ配布会」	本所
12月	1	あそびば	地域福祉センター
	4	正副会長会議	生き活きセンター

	4	ふくし出前講座（点字体験、手話体験）	栄小学校
	4	生活支援コーディネーター研修会	生き活きセンター
	7	「ちょこっと助け合い」活動事業ボランティア養成講座	おいらせ町社協
	9	つがる西北五圏域権利擁護センター研修会	五所川原市中央公民館
	11	五所川原市たすけあい資金運営委員会	生き活きセンター
	12	子ども・子育てフェスティバル実行委員会第４回会議	五所川原市役所
	13	地域のお宝発表会	アピオあおもり
	14	こども宅食「おすそわけ便」	地域福祉センター
	15	あそびば	地域福祉センター
	16	第３回　理事会	生き活きセンター
	17	法人運営会議	生き活きセンター
	17	あおもり「みんなの食堂」情報交換会	五所川原市中央公民館
	20	「青森しあわせネットワーク」令和６年度推進会議	オンライン開催
	21	出張サンタクロース	地域福祉センター
	22	あそびば	地域福祉センター
	23	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	25	第１回　臨時評議員会	生き活きセンター
１月	5	あそびば	地域福祉センター
	16	法人運営会議	生き活きセンター
	19	あそびば	地域福祉センター
	20	青森県介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修	オンライン開催
	24	育児・介護休業法等改正研修会	オンライン開催
	26	あそびば	地域福祉センター
	27	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	29	日常生活自立支援事業　関係機関連絡会議	オンライン開催
２月	2	あそびば	地域福祉センター
	6	社協運営強化研修（DX の取り組みと SNS の活用方法）	アラスカ
	7	つがる西北五広域連合地域自立支援協議会	プラザマリュウ五所川原
	10	障害者雇用納付金制度事務説明会	ポリテクセンター青森
	12	共同募金検討委員会	オンライン開催
	13	第３回 五所川原市子どもの幸せ推進協議会実務者会議	五所川原市役所
	16	あそびば	地域福祉センター
	18	実習指導者等情報交換会	オンライン開催
	19	令和６年度　社会福祉法人に係る指導監査	生き活きセンター
	19	生活支援コーディネーター情報交換会	生き活きセンター
	19	中核機関専門的判断会議	オンライン開催
	20	社協の介護サービス事業に関する勉強会	オンライン開催

	22	こども宅食「おすそわけ便」	地域福祉センター
	23	あそびば	地域福祉センター
	25	成年後見制度研修	オンライン開催
	26	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	27	市町村社協ボランティア担当者会議	県民福祉プラザ
	28	災害ボランティアセンター設置運営者研修	県民福祉プラザ
3月	2	あそびば	地域福祉センター
	3	「あおもりフードバンク」活動説明会	オンライン開催
	4	第３回基幹的社協等連絡会議	オンライン開催
	4	成年後見事業研修会	オンライン開催
	6	正副会長会議	生き活きセンター
	6	第２回 地域福祉部会	オンライン開催
	6	地域の絆づくり講演会	プラザマリュウ
	7	第２回 介護保険部会	オンライン開催
	10	「社会福祉法人による地域共生社会西北モデル強化事業」報告会	オンライン開催
	11	フレイル予防ミニシンポジウム	五所川原市民学習センター
	11	地域ケア推進会議	五所川原市役所
	12	食支援を広げるための第２回ミーティング	オンライン開催
	14	第４回　理事会	生き活きセンター
	16	あそびば	地域福祉センター
	17	法人運営会議	生き活きセンター
	17	サロンリーダー情報交換会	生き活きセンター
	18	在宅介護支援センター協力機関業務連絡会	五所川原市役所
	19	認知症フォーラム第５回実行委員会	五所川原市役所
	23	あそびば	地域福祉センター
	24	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	25	第２回　臨時評議員会	生き活きセンター
	30	あそびば	地域福祉センター

事業報告付属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため事業報告の付属書類は作成していない。